



怪しげな？ 「謎の館」の正体は…



龍馬の字は おじいさん作

良心市も手作り



◆頑張っている人物やグループを 広報編集委員が紹介します。…担当/田中たい子

国道55号線沿い、夜須交差点から少し西。北側に昨年から、怪しげな建物に、「龍馬」の看板。外壁も、少しずつペンキで塗られて、変化しています。市民の方から、「あそこは何やるの？」「ぜひ、広報で調べてみて」とのお声をいただきました。早速、知りたがり屋の調査員が出勤。その正体を明らかに！

（一）は夜須町役場？

入り口には、「古い館」の看板。「タロット占い」のタテ看板もあります。お話を聞こうと建物の北側に回ると、なんと、「旧夜須町役場」の看板が。ますます深まる謎の館。しかも声をかけても、誰もいません。

近所にお聞きしてやっと正体が分かりました。主は家具職人の清藤禮次郎さん（70歳）。ここは今でも家具の修理を請け負う工房兼アトリエだったのです。

建物の中へ

建物は、旧夜須町役場を建て直す際に、大工だった清藤さんのお父さんが材料を譲り受け移築されたもの。清藤さんは、古いものを集めるのが好きで、古いミシンやタンス、鞆などが所狭しと積み上げられていました。「古い建物のなかで、昔のものをきれいにして、展示したいと思うて2年前から始めたのがきっかけ」と語ると、昔作ったタンスや、みことな旧夜須町の絵地図を見せてくれました。また、絵の具を石から細かく砕いて作ろうとするこだわりには驚かされました。「人のやらんことをするが好きでね」と照れくさそうに笑う清藤さんでした。

※清藤さん、昭和展示館（仮称）に向けまだまだ改修作業は続くとか。お楽しみに。

タロット占い

さて、タロット占いの看板について説明しなければ。皆さんは覚えているでしょうか。数年前「Mr.まーさん」という大道芸人が子どもたちに大人気だったこと。そう、タロット占いの師は、そのまーさんで清藤さんの息子（清藤将仁）さん。2009年まで、売れっ子大道芸人のまーさんでしたが、その年に突然倒れ、右半身麻痺により、第一線から退くことに。希望を失っていた時にタロット占いの師匠に運命的に出会い師事。タロット占いの不思議な力と可能性を知り、経験を重ね占いの師として転向し、自宅前の「旧夜須町役場」を事務所として看板をあげました。恋愛の相談が多いとか。

せっかくなので少し占っていただくことに。二人の調査員は、その内容に「これ、当たっちゃうー」とびっくりです。しかも、結果が悪くても、その対策方法をアドバイスしてくれました。ただのタロット占いではなく、まーさんの温かい人柄が、私たちの心の中の「真実」を気づかせてくれたような気がしました。占いの館の部屋には、窓からの日差しの中、ほっとする時間が流れていました。

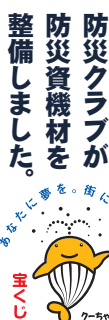
というわけで「謎の館」の正体は、家具工房とまーさんの占いの館でした。

※「高知 タロット」で検索すると、まーさんのHPが見れます！tel:0887-55-2562

編集後記

- ▼ナベヅル舞い降り冬到来(猪)
- ▼忙しい年末。安全運転を(m)
- ▼与えられる人から与える人へ(S)
- ▼食欲の秋から暴飲暴食の冬に(あ)
- 《広報へのメール》
- kouhou@city.kochi.konan.lg.jp
- 《香南市のホームページ》
- http://www.city.kochi.konan.lg.jp

宝くじの助成事業で 赤岡町少年 防災クラブが 防災資機材を 整備しました。



10月31日(月)宝くじの社会貢献事業の一つである「ミニミニ」助成事業(地域防災組織育成事業)助成金が赤岡町少年防災クラブに対して交付されました。同クラブは、助成金で防水ライトや折りたたみリヤカー、担架、一輪車など災害対応資機材15種類 292品を赤岡小学校などに整備しました。

今後、これらの資機材を活用し、防災啓発活動および防災訓練に取り組みしていきます。



■問い合わせ 消防本部 ☎55-4141